


環境省・オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会 御中
(事務局:気候変動対策認証センター)

平成 24年 1月16日

温室効果ガス排出削減・吸収量認証依頼書

オフセット・クレジット(J-VER)制度における検証が終了しましたので、利用約款記載のダブルカウントを回避するための措置を適切に執り行うことを誓約のうえ、下記の温室効果ガス排出削減・吸収量の認証を依頼いたします。

プロジェクト名			
木曾三川水源造成公社 間伐促進プロジェクト ～ 水源の森づくりプロジェクト ～			
【依頼者】プロジェクト代表事業者			
事業者名(フリガナ)	社団法人木曾三川水源造成公社 (シャダンホウジン キソサンセンスイケンゾウセイコウシャ)		
住所	岐阜県岐阜市藪田南五丁目14番53号		
代表者氏名	古田 肇	代表者役職	理事長
担当者氏名	佐藤 好秀	担当者 所属部署・役職	木曾三川水源造成公社 業務課 業務課長
担当者 E-mail	sato@kiso3sen.org	担当者電話番号	058-277-1065
プロジェクト事業者・プロジェクト参加者			
プロジェクト事業者名	社団法人木曾三川水源造成公社 (シャダンホウジン キソサンセンスイケンゾウセイコウシャ)		
プロジェクト参加者名			
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者			
事業者名(フリガナ)	社団法人木曾三川水源造成公社 (シャダンホウジン キソサンセンスイケンゾウセイコウシャ)		
	以下のうち当てはまる項目に☑ ☑ 本プロジェクトのプロジェクト代表事業者である。 ☑ 本プロジェクトのプロジェクト事業者である。 ☐ 本プロジェクトのプロジェクト参加者である。		
妥当性確認・検証機関			
妥当性確認機関名	SGS ジャパン株式会社		
検証機関名	SGS ジャパン株式会社		

プロジェクト情報	
プロジェクト登録番号 (4ケタ)	0118
プロジェクト登録日	平成23年6月30日
プロジェクト概要 ¹	<p>(具体的な内容を簡潔に記載すること。)</p> <p>【プロジェクトの目的・内容】 森林の公益的機能の高度発揮に対する要請が高まるなか、地球温暖化防止や国土の保全、生物多様性の保全等の目的として、長伐期施業(主伐を 80 年～90 年に延ばす)により、針・広混交林施業への円滑な誘導を目指した間伐等の適切な実施により、CO2 の吸収量の増大を図る。</p> <p>【適格性基準との整合性】 森林法第 5 条に規定される地域森林計画該当地であり、森林施業計画書の長期の方針に基づいて管理しており、間伐方法及び間伐率は、施業計画認定基準判定において、当該市町村長により適正である旨判定され、クレジット発行期間内に土地の転用及び主伐は計画されていない。</p> <p>【法令遵守状況】 森林・林業基本法、森林法、森林の間伐等の関する特別措置法に該当し、それぞれの法令を遵守している。</p> <p>【採用技術】 測量機器について、面積測量はデジタルコンパストゥルーパルス 360BT 及びポケットコンパス、樹高測定器についてはデジタルコンパストゥルーパルス 360BT、また、胸高直径は直径巻尺を採用した。</p> <p>【モニタリング方法】 ガイドラインに従い、30haを上回らないことを考慮し、地形、林相が類似した同一樹種区域の標準的な位置にモニタリングプロットを設定した。また、間伐等の調査時に成長量のバラつきがないことを確認した。</p> <p>なお、プロジェクト計画書B:プロジェクト活動の概要②、備考②リスク対策;現況とプロジェクト/モニタリング計画書における情報が一致しない場合に該当する、現況と計画書における樹種・林齢等の情報が一致しない場合は、保守性を考慮するために林分全体を成長量の少ない樹種・林齢として算定した。</p> <p>【GHG 算定式の方法論への準拠性】 方法論 NO.R .001ver4.0(間伐促進型プロジェクト)に準拠している。</p> <p>【モニタリング体制】</p>

¹ プロジェクト概要はプロジェクトの目的・内容の他、適格性基準との整合性・法令遵守状況・採用技術・モニタリング方法・GHG 算定式の方法論への準拠性・モニタリング体制・QA / QC 体制等に関する内容を3ページ以内で具体的に記述してください。登録時から変更がなければ登録時と同内容を、登録時から変更がある場合は相違点を具体的に記述してください。

